



第55号

梅苑会報



福島県立福島高等学校



コロナ禍を乗り越えて

今年度は、福島高校同窓会が4年ぶりに本格的な活動を再開することのできた記念すべき年となった。

数年来のコロナ禍においては、総会なども縮小した形で行われてきたが、今年は福島高校同窓会、関東梅苑会、みやぎ梅苑会ともに、懇親会までを含めて従来通りの形で開催することができた。

総会の参加人数も例年より増え、総会後の懇親会では、しばらくぶりに顔を合わせる会員たちが和やかに会話を交わしている様子が随所で見られ、大変に活気のある様子であった。コロナ禍において、活動や行動に多くの制限がかけられる中、我々にとって一番我慢を強いられたことは、親しい友人たちと言葉を交わすことに制約が設けられたことだったのではないだろうか。我々が求めているのは、親しい友人たちとの関わり、繋がりであったということが、行動に制限がかけられたことによって、はっきりと分かったように思える。その意味において、同窓会の総会が開催されることで友人たちと顔を合わせる場が復活したことを言いたいと思う。

また、総会には近年卒業したばかりの若い会員たちの姿が見られたことも、大変に喜ばしい。恩師を頼って友人と参加するなどの参加が見られた。これからも若い会員の総会への参加が増えてくれると、さらなる活気に繋がるのではないかと思う。

人と人との繋がりを取り戻す場が同窓会であるとするならば、今後ともその役割は重要なものとなっていくはずである。会員の皆様には、是非同期生を誘って同窓会総会に足をお運びいただき、級友との親交を温めながら、福島高校同窓会をさらに盛り上げていただきたいと願う次第である。

column

福高中庭の人形

今年度、福島高校の中庭にある池のそばに、野球少年の人形が登場しました。ユニフォームを着てヘルメットをかぶっている少年は、バットの代わりに看板を掲げています。その看板にはその時々時事ネタや、流行語、定期考査に向かう生徒への応援、あるときにはひねりが必要とする謎解きなど、いろいろな言葉が掲げられています。

福高生の多くは1棟へ向かう教室移動の際、2階の渡り廊下を使いますが、その渡り廊下の途中から、身乗り出して野球少年の看板に書かれてあることを読んでいます。読んだ後は、書かれてある内容について、友人同士で話をするのが常のようです。謎解きの答えを確認し合ったり、生徒への応援についての感想を話し合ったり。普段の授業後のふりかえりや、たわいなしなおしゃべりとは少し趣の異なる会話が繰り広げられています。



どうやら、教師の誰かが、毎日その看板を取り替えているようですが、その看板には、学校を基本としながら、多様な世間の話題にも目を向けてほしいとの思いが込められているようにも感じられます。その思いを受けて、多様な話題に関心を持つ福高生へ育ってほしいと願っています。

令和6年度予算書（令和5年9月1日～令和6年8月31日）

令和6年度 一般会計予算書(案)

1.収入の部		
項目	予算額	摘要
(1)繰越金	1,232,526	
(2)卒業生入会金	816,000	R3年度入学生（272名×3,000円）
(3)卒業生年会費	272,000	R3年度入学生（272名×1,000円）
(4)同窓生年会費	2,200,000	同窓会会員（約1,100名×2,000円）
(5)雑収入	50	利息
(6)雑入金	300,000	母校後援会会計より
合 計	4,820,576	

2.支出の部		
項目	予算額	摘要
1.事業費	3,970,000	
(1)総会費	680,000	定期総会開催に関する費用
(2)会報費	3,000,000	梅苑会報印刷、郵送代、振替用紙
(3)母校後援費	290,000	卒業生証書ホルダー
(4)特別事業費	0	
2.運営費	775,000	
(1)会議費	200,000	役員会、幹事会
(2)事務諸費	5,000	文員費
(3)交際費	100,000	関東・みやぎ梅苑会お祝い、職員饗別、その他
(4)慶弔費	20,000	
(5)通信費	40,000	切手、葉書代
(6)旅 費	400,000	関東・みやぎ梅苑会出席者旅費
(7)雑 費	10,000	
3.予備費	75,576	
合 計	4,820,576	

項目間の流用をお認め願います。

令和6年度 母校後援会会計予算書(案)

1.収入の部		
項目	予算額	摘要
(1)繰越金	286,964	
(2)卒業生年会費	272,000	卒業生（272名×1,000円）
(3)同窓生年会費	1,300,000	同窓会会員（約700名）
(4)雑収入	50	利息等
合 計	1,859,014	

2.支出の部		
項目	予算額	摘要
(1)後援会費	200,000	HP更新、母校への助成等
(2)部活動助成	200,000	全国大会出場への激励金
(3)一般会計	300,000	一般会計への繰り入れ金
(4)太宰府梅基金	100,000	太宰府梅基金への繰り入れ金
(5)梅苑会館維持管理費	300,000	梅苑会館維持管理への繰り入れ金
(6)会員名簿管理費	720,000	令和5年度分
(7)予備費	39,014	
合 計	1,859,014	

項目間の流用をお認め願います。

令和6年度 梅苑会館維持管理会計予算書(案)

1.収入の部		
項目	予算額	摘要
(1)繰越金	4,386,191	
(2)積立金	300,000	母校後援会会計より
(3)雑収入	50	利息等
合 計	4,686,241	

2.支出の部		
項目	予算額	摘要
(1)修繕費	500,000	
(2)備品費	300,000	
(3)予備費	300,000	
(4)繰越金	3,586,241	
合 計	4,686,241	

令和6年度 太宰府梅基金会計予算書（案）

1.収入の部		
項目	予算額	摘要
(1)繰越金	2,055,536	
(2)同窓会梅基金	100,000	母校後援会会計より
(3)雑収入	50	利息等
合 計	2,155,586	

2.支出の部		
項目	予算額	摘要
(1)飛び梅交際費	550,000	旅費、接待費、諸経費等
(2)飛び梅管理費	70,000	肥料・消毒代等
(3)予備費	300,000	
(4)繰越金	1,235,586	
合 計	2,155,586	

項目間の流用をお認め願います。

令和6年度 一六回奨学会会計予算書(案)

1.収入の部		
項目	予算額	摘要
(1)繰越金	5,500,448	
(2)同窓会寄付金	0	
(3)雑収入	50	利息等
合 計	5,500,498	

2.支出の部		
項目	予算額	摘要
(1)交付金	3,500,000	令和6年度交付金（7名）
(2)予備費	2,000,498	
合 計	5,500,498	

項目間の流用をお認め願います。

令和5年度決算書（令和4年9月1日～令和5年8月31日）

令和5年度 一般会計決算書

収入決算額・・・5,547,939円 支出決算額・・・4,315,413円 次年度へ繰越額・・・1,232,526円

1.収入の部			
項目	予算額	決算額	摘要
(1)繰越金	1,671,926	1,671,926	
(2)卒業生入会金	816,000	807,000	R2年度入学生（269名×3,000円）
(3)卒業生年会費	272,000	269,000	R2年度入学生（269名×1,000円）
(4)同窓生年会費	2,000,000	2,300,000	会員(925名)
(5)雑収入	50	13	利息
(6)雑入金	500,000	500,000	母校後援会会計より
合 計	5,259,976	5,547,939	

2.支出の部			
項目	予算額	決算額	摘要
1.事業費	4,000,000	3,695,606	
(1)総会費	680,000	465,642	定期総会開催に関する費用
(2)会報費	3,000,000	2,988,734	梅苑会報印刷、郵送代等
(3)母校後援費	290,000	241,230	卒業生証書ホルダー
(4)特別事業費	30,000	0	
2.運営費	875,000	619,807	
(1)会議費	200,000	171,275	R4年第2回役員会、R5第1回役員会
(2)事務諸費	5,000	0	
(3)交際費	100,000	20,000	関東梅苑会総会お祝い
(4)慶弔費	20,000	0	
(5)通信費	+20,000		
(6)旅 費	40,000	57,622	書類送付代、往復葉書
(7)雑 費	500,000	370,910	関東・みやぎ梅苑会出席旅費
(8)雑収入	10,000	0	
3.予備費	△20,000	0	
(4)雑収入	384,976		
合 計	5,259,976	4,315,413	

令和5年度 母校後援会会計決算書

収入決算額・・・2,269,954円 支出決算額・・・1,982,990円 次年度へ繰越額・・・286,964円

1.収入の部			
項目	予算額	決算額	摘要
(1)繰越金	700,948	700,948	
(2)卒業生年会費	272,000	269,000	R2年度入学生（269名×1,000円）
(3)同窓生年会費	1,300,000	1,300,000	会員（664名）
(4)雑収入	50	6	利息
合 計	2,272,998	2,269,954	

2.支出の部			
項目	予算額	決算額	摘要
(1)後援会費	300,000	187,990	同窓会HP利用・更新、賞状名入、記念品
(2)部活動助成	300,000	180,000	全国大会出場助成
(3)一般会計	500,000	500,000	一般会計への繰り入れ
(4)太宰府梅基金	100,000	100,000	太宰府梅基金への繰り入れ
(5)梅苑会館維持管理費	300,000	300,000	梅苑会館維持管理への繰り入れ
(6)会員名簿管理費	720,000	715,000	会員データ管理業務
(7)予備費	52,998	0	
合 計	2,272,998	1,982,990	

令和5年度 福島高校同窓会太宰府梅基金会計決算書

収入決算額・・・4,386,191円 支出決算額・・・0円 次年度へ繰越額・・・4,386,191円

1.収入の部			
項目	予算額	決算額	摘要
(1)繰越金	4,086,157	4,086,157	
(2)積立金	300,000	300,000	同窓会会費（母校後援会会計より繰り入れ）
(3)雑収入	50	34	利息
合 計	4,386,207	4,386,191	

2.支出の部			
項目	予算額	決算額	摘要
(1)修繕費	500,000	0	
(2)備品費	300,000	0	
(3)予備費	3,586,207	0	
合 計	4,386,207	0	

令和5年度 県立福島高校同窓会太宰府梅基金会計決算書

収入決算額・・・2,611,651円 支出決算額・・・556,115円 次年度へ繰越額・・・2,055,536円

1.収入の部			
項目	予算額	決算額	摘要
(1)繰越金	2,511,633	2,511,633	
(2)同窓会梅基金	100,000	100,000	同窓会会費（母校後援会会計より繰り入れ）
(3)雑収入	50	18	利息
合 計	2,611,683	2,611,651	

2.支出の部			
項目	予算額	決算額	摘要
(1)飛び梅交際費	+10,000		
(2)飛び梅管理費	550,000	556,115	旅費、接待費、贈答品
(3)予備費	70,000	0	
(4)雑収入	△10,000		
(5)予備費	1,991,683	0	
合 計	2,611,683	556,115	

令和5年度 福島高校同窓会一六回奨学会会計決算書

収入決算額・・・6,000,448円 支出決算額・・・500,000円 次年度へ繰越額・・・5,500,448円

1.収入の部			
項目	予算額	決算額	摘要
(1)繰越金	6,000,398	6,000,398	
(2)寄付金	0	0	
(3)雑収入	50	50	利息
合 計	6,000,448	6,000,448	

2.支出の部			
項目	予算額	決算額	摘要
(1)交付金	3,500,000	500,000	令和5年度交付金（1名）
(2)予備費	2,500,448	0	利息
合 計	6,000,448	500,000	



同窓会会長
芳賀 裕
(高校第22回卒)

歴史は繰り返す

約3年間猛威を振るった新型コロナウイルス感染症が昨年5月8日に感染症法上の2類相当から5類感染症に移行して初の新年を迎えたその日に能登半島地震が発災、各地に甚大な被害を及ぼしました。緊急地震速報に13年前の恐怖が蘇りました。被災されました皆様に心よりお見舞い申し上げます。復興に多くの支援をお寄せいただいた私達としては、できるだけの支援をお返ししなければと思います。

また、ロシアのウクライナ侵攻から2年が経ちますが停戦終戦の兆しは見えず、さらに昨年10月からのイスラエル・パレスチナ紛争も先が見えない状況です。せめて人智で解決できる負の歴史は繰り返してはならないと思います。

さて、同窓会は、11月17日に福島グリーンパレスにて4年ぶりに通常の形で総会、懇親会を開催できました。参加者は少なめでしたが、会場は参加者のほっとした顔と久し

ぶりに旧交を温めるにぎやかな声に満たされました。これに先立つ5月26日には、関東梅苑会の30周年記念総会が、9月8日には、みやぎ梅苑会総会が開催され同窓生の元気な校歌が響き渡り、再出発の感がありました。楽しく素晴らしい伝統は今後も継続したいものです。

ところで、私は、今回の総会で再び会長に選任されました。これまで2年間、役員の皆様のご協力をいただき同窓会の様々な現状を知ることができたことを踏まえ、新任期には、良い点を伸ばし、時代に合わせ改善すべき点を修正し、その中で新しい取り組みへの兆しも見つけられるように、理事を若干増員し多くの英知を集めて臨みたいと考えております。

早速に行うべき点としては、「同窓会費の納入者を増やす」ことです。

最近の数年間、毎年この梅苑会報をお送りしている会員は約15,000人に対して同窓会費納入者は約1,000人です。15人中14人は未納という状況で、いかに福高卒業生の多くが、母校に、そして同窓会に無関心なのかを示しております。会費は同窓会活動の血液です。血液が不足しては体力の維持も困難です。

さらに、昨年、高橋雅行副会長がリーダーの「梅苑会館修繕検討プロジェクト」が、創立100周年記念事業で建設し生徒達が有効利用している記念棟・合宿集会所の大規模修繕箇所を調査し、必要経費約4,400万円と役員会に報告されました。しかし、単年度会計の同窓会予算だけでは、支援困難な状況です。これらのことも含め役員へ、4年後の母校創立130周年に向けた同窓会活動への会員皆様のお考えをお寄せいただければ幸甚に存じます。

末尾となりますが本年も福高高校と、同窓生の皆様に幸多からんことを祈念いたします。



福高 同窓会総会

令和5年度「福高同窓会総会」は11月17日（金）18時よりホテル福島グリーンパレスを会場に開催されました。今年度の総会は、コロナウイルスの感染拡大が下火になったことを受け、講演会、総会の後に懇親会を行う、コロナ禍以前の形式に戻って行われました。

講演会に先立ち、「UCL Japan Youth Challenge 2023での研修について」に参加した生徒たちからの参加報告がありました。

講演会では、高校第34回卒、NPB西武ライオンズ、広島東洋カープで活躍した鈴木哲さんによる講演が行われました。「プロとアマチュア、それぞれの「プレイ意識」という題で、ご自身のプレイヤーとしての体験をはじめ、スカウトや指導者としてプロ、アマ双方の世界に長く関わっている経験からの幅広い視点で、意識が選手にもたらす影響についてお話しいただきました。総会では、会長・校長の挨拶があり、各議案の承認がなされました。

関東梅苑会だより

〈佐藤正久議員インタビュー〉

日本を守るという心と

今回のインタビューは参議院議員の高31回の佐藤正久（さとうまさひさ）さんです。

佐藤さんは防衛大学校から陸上自衛隊に入隊し、国連PKOゴラン高原派遣輸送隊やイラク先遣隊、イラク復興業務支援隊においていずれも初代隊長として貢献されました。福島高校や大学時代の思い出、国会議員としての想いを伺いました。

小針優汰（高73・法大3年）

運よく入学した
福島高校

吾妻山の麓の兼業農家の長男に生まれ、小学校はあづま総合運動公園に近い佐原小学校に通いました。生まれ育った地区は街中からは遠く西に離れたところで、吾妻山があまりに間近すぎて、市内から眺められるような山の輪郭が見えないほどのです。



佐藤 正久さん(高校31回)

【プロフィール】

1960年 … 福島県福島市生まれ 佐原小、西信中
1979年 … 福島高等学校卒業
1983年 … 防衛大学校（応用物理）卒業
1992年 … 外務省アジア局出向
1996年 … 国連PKOゴラン高原派遣輸送隊初代隊長
1998年 … 米陸軍指揮幕僚大学卒（カンザス州）
2004年 … イラク先遣隊長、復興業務支援初代隊長
第7普通科連隊長兼ねて福知山駐屯地司令
2007年 … 参議院議員（全国比例区）初当選
2017年 … 外務副大臣

現在は参議院議員（全国比例区）3期目。2023年より参議院自由民主党国会対策委員会 委員長代行を務め、地上波・BSのテレビやSNSチャンネルに多数出演している。

当時でも佐原小学校は1学年が1クラス男女20名ほどの小さな学校でした。小さい頃から田んぼや養蚕の家の仕事を手伝っていたので、西信中学校を卒業したら福島農蚕高等学校（現在の福島明成高等学校）に進み、家業を継ぐものと周りも自分も考えていました。

ところが中3の時に高校見学をしてみると、それまで想像していたイメージと大きく違っていると感じ、将来の選択肢を拡げたい。進路を決める最後の大事な時期だったので、中学校の校長先生や進路指導の先生に日替わりで何度も考え直すよう説得されました。私立の願書の申し込みも既に終わっていたので、中学浪人を覚悟して福島高校のところが中3の時に高校見学をしてみると、それまで想像していたイメージと大きく違っていると感じ、将来の選択肢を拡げたい。進路を決める最後の大事な時期だったので、中学校の校長先生や進路指導の先生に日替わりで何度も考え直すよう説得されました。私立の願書の申し込みも既に終わっていたので、中学浪人を覚悟して福島高校の

心身を鍛えた
防衛大学校

大学受験では、近くに住む自衛官の方の薦めで防衛大と防衛医大を受験し、また志望していた東北大学の原子核工学科も受

ことが復旧ですが、復興は更に高めなければならぬので、「魚を与えるのではなく、魚の釣り方を教える」という考えで復興支援を進めました。

現地で尽力している自衛隊の姿が日本に伝わることで、徐々に私たちの仕事認められていきました。隊員の一番の心の拠り所は国民の支持です。隊員は憲法9条や平和主義のジレンマを抱えながらも、利他の精神で任務にあたっています。自衛隊員は入隊する時に「事に臨んでは危険を顧みず、身をもって責務の完遂に務め、もって国民の負託にこたえることを誓います。」と宣誓をします。自衛隊員は、何かあっても自分を犠牲にして国家国民を守ることを最初に誓うのです。私は、憲法上の曖昧さがある中で「自衛隊の任務・仕事というのは自己犠牲の尊い価値観に立脚したものです。悩まず、迷わずに任務に当たりなさい。君たち一人ひとりの汗が日本の抑止力になるのです。」と、自分にも隊員にも言い聞かせていました。イラク派遣の経験が無ければ、私は政治家にはならなかったと思います。現場の課題を国政で伝えなければならぬという使命感に駆られ、今の仕事に臨んでいます。

国会議員として
目指すこと

平成19年から参議院議員として国政に携わっています。政治というのは自衛隊とは全く違った世界で一筋縄ではいきません。かつて特定秘密保護法や平和安全法制の責任者として厳しい経験を経て、その後外務副大臣を務めた際に、それらの法案が日本のために活かされたと感じました。他国との同盟は「価値観・負担・リスク」の共有により成り立つもので、平和安全法制の成立で日米同盟は進化し、国防を強化できました。

今戦争に巻きこまれることは絶対にあってはなりません。ウクライナやパレスチナのように美しい場所がひと晩にして殺戮現場や廃墟になってしまう。



大陸側から見た日本列島を解説



きました。東北大学にも合格してきましたのですが、親戚の事業失敗が実家にも影響し仙台での一人暮らしを諦めました。物理への向学心や学校紹介ビデオで見た格好よさ、加えて当時人気だった山口百恵さんの町のイメージに惹かれて（笑）、横須賀の防衛大に入学しました。

防衛大は全寮制で、朝6時の起床から点呼と掃除、8時から15時まで授業、クラブ活動後に、掃除、点呼、22時就寝という生活です。隣の部屋の4年生（部屋長）の言われるままにホッケー部に入ることとなり、4年間は学業そっちのけでグラウンドホッケーに打ち込みました。当時、防衛大のホッケー部は関東1部リーグに所属し、慶応



サマールワ（イラク）での活動（2004年）

自衛隊での
数々の経験

大・早稲田大・明治大などのホッケー経験者ばかりの強豪校と伍するために、寝ても起きてもホッケーのことを考えました。そのお陰で4年生のインカレ（1982年大会）では百数十連勝中の天理大を破って決勝に進み、結果は準優勝ではありましたが、今でも仕事で天理に行くこと、そのことで地元の関係者と話が盛り上がります。

高校で部活を途中で辞めてしまつて後悔の念もあり、大学ではそれを取り返したい気持ちで懸命にホッケー部に向き合い、心身ともに鍛えたことは、その後の自衛隊の仕事で大きく役に立っています。

防衛大卒業後は小隊長（ブラトーンリーダー）となり30人程度の部下を持ちました。最初は

何も知らない小隊長でしたが、外務省出向時のカンボジアPKO（国際連合平和維持活動）やODA（政府開発援助）での派遣経験を通して、現場を理解していききました。その経験が評価されて35歳の時に隊長としてシリアに派遣され、後には米国防軍指揮幕僚大学の留学を経験しました。帰国後は日米関係の仕事や陸上幕僚監部と共にテロ対策の仕事に携わり、後にイラク

オバマ元大統領が「アメリカは世界の警察を辞める」と宣言したことで民族紛争や宗教戦争は加速し、後のトランプ大統領がアメリカ第一主義を唱えたことで世界の分断は広がりました。戦争というのは相手に隙を与えれば始まってしまいます。相手に隙を与えないことが大事なので、自衛隊はいざとなったら抜いた刀が切れるよう備え、外交はその刀を抜くことが無いような環境を作らなければなりません。自分の国を自分で守らなければ同盟国・同志国は絶対に支援してくれません。外交は内政の延長線上にあるので、内政が安定しなければ強い外交は築けません。内政や諸外国の内向的な状況から厳しい時代ではありますが、戦争を起こさない環境にするために、私はこれからも全力を尽くしていきます。

インタビューを終えて

3年前に福島高校を卒業し、このたび関東梅苑会の会員としてこの記事を担当できましたことを心から嬉しく思います。今回の佐藤正久先輩へのインタビューでは学生ながらも多くのことを学ばせていただきました。個人的には近年の若年層の政治離れは深刻な問題だと感じており、その質問に佐藤先輩は「近・現代史教育の少なさ」を指摘されました。戦争を知らない世代ではありますが、私たちの先祖が紡いできた日本を大事に育んでいきたいと強く感じました。佐藤先輩と同じ福島高校を卒業したことを誇りに持ち、私も今後社会へ貢献できる人物を目指していきます。



佐藤先輩と小針優汰

みやぎ梅苑会だより

総会・懇親会

4年ぶりに開催されました。

令和5年9月8日（金）ホテルJALシティ仙台にて開催されました。過去最大人数70名の参加者となりました。4年ぶりの総会のため、4年分の事業・決算報告が行われ、竹石淳一監事（高校39回卒・税理士）より監査報告があり承認。今年度の事業計画、予算案、規約改正、役員改選が承認されました。



【役員改選】

新会長 落合敏伸さん（高校19回卒）
新副会長 橋本俊一さん（高校21回卒）

来年は100人で校歌を歌い、応援歌を歌いたいものです。
総会資料 出席者名簿は「みやぎ梅苑会オフィシャルホームページ」
総会・懇親会にてご覧ください。

年に1度の同窓会です。仲間を誘って参加しよう！ 2024年度関東梅苑祭・合同同期会

日にち：2024年5月31日（金）

時 間：18時受付、18時半開宴

会 場：喜山倶楽部（千代田区一ツ橋・日本教育会館9F）

- 今年度の開催場所はこれまでとは異なる宴会場になります。チラシ裏面に地図を掲載していますので確かめください。
- 申込みの詳細は同封のチラシやホームページをご覧ください。



2023年総会の様子

会員の皆さまへ

年会費改定のお願い

日頃より関東梅苑会の活動にご協力いただき誠にありがとうございます。

関東梅苑会は、会費制を始めて以来、長年に亘り年会費を1000円に据え置き努力して参りましたが、郵便料金の値上げ等、諸般の事情により会の運営・維持が厳しくなっております。つきましては誠に心苦しいのですが、今年度より年会費を2000円に値上げさせていただきます。

何卒ご理解とご協力を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

関東梅苑会 役員会



みやぎ梅苑会会長
落合 敏伸
（高校19回卒）

新しい時代に向けて

「広げよう！親睦と交流の輪を」

数多くの先輩方のご努力のおかげでみやぎ梅苑会は、令和6年10月に宮城支部再建28年目（設立57年目）を迎えます。今号では、これまでの会の足跡や現在の活動の様子をお伝えいたします。

みやぎ梅苑会は、母校の発展および卒業生のお役に立てるよう努力してまいりますので、今後ともよろしくお願いいたします。

みやぎ梅苑会の再スタート

当会は昭和42年に母校の創立70周年を記念し「福島高校同窓会宮城支部」として設立されました。初代会長に村岡勇氏（中22回卒）を選出して活動を続けたものの、2代会長吉田正男氏および3代会長佐藤利氏のご逝去後は、その活動と運営は著しく弱体化し、休眠状態となりました。

平成8年10月後藤充氏（中47回卒）の声掛けで57名の再建発起人のもと規約作成・役員選定等検討が行われ、平成8年11月1日に県内で活躍されている同窓生の支援の下、支部再建総会が仙台ホテル

【主な活動】

●校歌を歌いましょうの会参加

平成14年に母校校歌の作詞者である土井晩翠の没後50年を記念して、晩翠の母校である仙台市立立町小学校が中心となりスタートした「土井晩翠先生が作詞した校歌と一緒に歌いましょうの会」（隔年開催）に、第2回から現在に至るまで毎回参加し、母校合唱部OBが中心となって美しいハーモニを響かせています。

●土業プロフェッショナル集団

平成27年に同窓生の土業プロフェッショナル集団AKAZA会

●ゴルフ大会
「みやぎ梅苑会ゴルフ大会」を年3回（週末2回・平日1回）開催しております。

を発足させました。（弁護士、公認会計士、税理士、司法書士、不動産鑑定士、社労士、行政書士、FP技能士など 約30名が参加）年2回定期的に集まり、毎回持ち回りで研修講師を務め、情報・意見交換、交流を行っています。

最後となりますが、会員の皆様から愛される同窓会を目指してまいりますので、皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

みやぎ梅苑会の活動は「みやぎ梅苑会オフィシャルホームページ」にてお知らせいたしますのでご確認ください

みやぎ梅苑会
オフィシャル
ホームページ



みやぎ梅苑会 検索
https://miyagi-baienka.com/

進学展望

進路希望の動向

令和6年度の大学入学共通テストの志願者数は491,914人で、大学入試センター試験時代を含め32年ぶりに50万人を下回り、前年比20,668人減であった。この春の高校卒業予定者における共通テスト志願者の割合（現役志願率）は45・2％で、志願者のうちで現役生が占める割合は85・3％で、いずれも過去最高となった。志願者数及び現役生数は6年連続で減少、既卒生数は5年連続で減少と、近年の受験は「現役生同士の戦い」の度合いが強まっている。受験者数は457,608人で前年比16,443人減であった。受験科目数別の受験者数は、国立型7科目受験で3千人程度の減少に対して、私立型の3科目受験は6千人以上の減少であり、私立専願者の共通テスト離れが加速していると言える。

これまで過去3年実施されてきた大学入試共通テストでは、2年目の数学で極端に平均点が下がったり、理科や地歴公民科において同一年度の同一教科内で平均点にバラつきが見られたりしたが、4年目となった今年の平均点は、国語が易化したことを除いては、過去回に比べて安定性のあるものだった。ただし、どの教科においても問題の長文化に対応した「速読力」と、限られた時間内でも必要な情報を適切に処理する「精読力」が求められ、それらの「読解力」の差が上位層と下位層の「二極化」をもたらすという点に関して、今年はいより際立った印象がある。



福島高等学校長
丹野 純一

日頃より多大なるご支援とご協力をいただき厚く御礼申し上げます。私は福高37回生であり、約40年ぶりに母校の校歌と応援歌を生徒たちとともに歌い、懐かしさに胸が熱くなりました。

当時入学してすぐの応援歌講習では校歌と応援歌を徹底的にたたき込まれました。梅苑祭では昔は教室内に巨大な建造物を作ったり、仮装行列で福女の前で延々とダンスを踊ったり、フィナーレで、500人の男が熱狂したりしましたが、今でも毎年公開で開催し、今年度はコロナ禍以前の姿で開催し学校全体が熱く燃えました。

私は陸上競技に熱中し、信天山や信夫ヶ丘を友とともに走り回った日々は忘れられません。今年度全国大会に進んだ部には同窓会から支援金をいただきました。ありがとうございました。

学習面では、当時は先生も生徒も今とは比べものにならないくらいおろかで、自習の教科があると先生に交渉して授業を繰り上げる、いわゆる

懐かしき母校にて

るカット制がありました。今では考えられない話です。

現在は、スパーサイエンスハイスクール事業も17年目を迎え、生徒たち自身が設定したテーマに関する課題研究が充実し、例えばアルミ缶から人工ルビーを作り出す研究は、一昨年日本金属学会で発表し学会長賞を受賞しました。課題研究の一環である関西方面への研修旅行では各班ごとに大学研究室、研究機関等を訪問、専門家から研究内容に關し助言を得るなど高度な学びも展開しております。

さらに同窓会有志のご支援も頂き、同窓生の大沼教授が勤務するロンドン大学UCLやケンブリッジ大学での研修に三名の生徒を送り出し、他にタイ研修も実施するなど国際的に活躍する力を育成しています。

このような新たな取組により生徒たちは着実に力をつけ人間性にも成長しています。

福高生は、昔から、自由で、奔放で、個性的な人がたくさんいて、あまり小さくまとまらず、骨太でそれぞれの目標

入試出願状況

(現校の延べ数、学校推薦型・総合型選抜を含む) 2月13日現在

項	大学名	令和5年	令和4年	令和3年
国公立大	北海道大	3	11	8
	北岩手大	3	5	8
	東北大学	89	80	73
	宮城教育大	13	8	11
	山形大	22	15	36
	福島大	56	80	54
	茨城大	20	2	11
	筑波大	15	14	12
	宇都宮大	11	4	7
	埼玉大	20	20	25
	千葉大	25	19	18
	東京大	11	6	8
	東京外語大	1	2	1
	東京海洋大	2	3	4
	東京学芸大	9	11	8
	東京工業大	3	4	4
	東一橋大	2	4	1
	横浜国立大	9	10	4
	新潟大	28	36	48
	金沢大	1	2	1
	京都市大	0	1	4
	京大	34	46	46
	国立大・小計	377	383	392
	県立医科大	39	50	39
	県立会津大	3	2	1
	高崎経済大	8	11	7
	東京経立大	7	3	8
	その他	32	28	30
私立大	公立大・小計	89	94	85
	合	466	477	477
	東北学院大	24	52	27
	青山学院大	8	15	11
	慶應義塾大	10	8	9
	上智大	5	3	15
	中央大	67	47	19
	津田塾大	1	10	2
	東京理科大	20	27	27
	法政大	62	48	31
	明治大	45	40	29
	立教大	26	25	9
	早稲田大	25	46	14
	その他	312	332	300
	合	605	653	493

※昨年度まで、本紙の出願状況の数値には、学校推薦型選抜および総合型選抜での出願数を含めていませんでしたが、昨今の入試動向の変化を踏まえて、今年度からはそれらを含む数値での記載に変更しております。

大学合格者数 (過年度卒を含む、私立大は延べ人数)

※令和2年度までは8クラス、令和3年度からは7クラス。

項	大学名	令和4年	令和3年	令和2年
国公立大	北海道大	4	3	4
	北岩手大	4	4	0
	東北大学	32	32	35
	宮城教育大	5	8	8
	山形大	8	12	11
	福島大	35	17	42
	茨城大	1	3	3
	筑波大	5	2	12
	宇都宮大	3	2	3
	埼玉大	9	10	11
	千葉大	2	7	13
	東京大	4	2	6
	東京外語大	1	0	0
	東京海洋大	1	1	1
	東京学芸大	5	2	8
	東京工業大	3	1	3
	東一橋大	1	1	0
	横浜国立大	8	2	3
	新潟大	24	21	14
	金沢大	2	0	2
	京都市大	0	1	3
	京大	15	15	16
	国立大・小計	172	146	198
	県立医科大	24	21	22
	県立会津大	2	1	3
	高崎経済大	2	4	3
	東京経立大	2	5	4
	その他	11	6	9
私立大	公立大・小計	41	37	41
	合	213	183	239
	東北学院大	55	27	24
	青山学院大	5	5	0
	慶應義塾大	8	8	8
	上智大	3	1	0
	中央大	35	27	26
	津田塾大	7	1	3
	東京理科大	22	21	15
	法政大	23	24	23
	明治大	24	16	17
	立教大	11	4	7
	早稲田大	15	9	12
	その他	221	219	240
	合	429	362	375
準大学(省庁大学校)	短期大学	1	2	3
	短大	2	4	2
	各種学校	2	2	1
	就職	0	0	1

部活動成績

令和5年度 部活動成績(主に東北大会以上を掲載しております。)

【陸上競技部】●第78回東北高等学校陸上競技大会……女子3000m／今村学実

【テニス部】●第45回東北ジュニアテニス選手権大会……【女子】U18 シングルス／ダブルス／鳴海春佳
●2023年度全日本ジュニアテニス選手権大会……【女子】U18 ダブルス／鳴海春佳
●2023年度全国高等学校体育大会テニス選手権大会……【女子】シングルス／鳴海春佳
●第39回東北インドアテニス選手権大会……【女子】U18 ダブルス／鳴海春佳
●第46回全国選抜高校テニス大会……【女子】シングルス／鳴海春佳

【アーチェリー部】●令和5年度全国高等学校総合体育大会アーチェリー競技……【女子団体】清水奏芭、佐藤春菜、菅野琉夏
●第38回東北高等学校アーチェリー選抜大会……【男子団体】福田拓、曲山雄翔、高橋侑李、吾妻弘望
【女子個人】矢部ひかり、藤田香凛

【管弦楽部】●第12回日本学校合奏コンクール2023 グランドコンテスト

【将棋部】●第59回全国高等学校将棋選手権大会……【男子個人】櫻井亮人
●第36回全国高等学校将棋竜王戦……【男子】櫻井亮人
●第32回全国高等学校文化連盟将棋新人大会(能登半島地震のため中止)……【男子個人】櫻井亮人

【囲碁部】●第47回全国高校囲碁選手権大会……【女子団体戦・個人戦2名】
●第47回全国高等学校総合文化祭囲碁部門……【団体戦・女子個人戦】
●第37回東北地区高等学校囲碁選手権大会……【女子団体戦】

【SS部】●令和5年度電気学会高校生みらい創造コンテスト……最優秀賞／小山拓希、平野陽太、大谷温樹、小林嵐
●第19回全国物理コンテスト 物理チャレンジ2023……優良賞／新保隆太
●化学グランプリ2023 全国大会……銀賞／新保隆太
●令和5年度スパーサイエンスハイスクール生徒研究発表会「ポスター発表賞」……大内葵衣
●環境放射能除染学会優秀ポスター発表賞……阿部のどか、遠藤 涼馬、岡 ひかり

【梅章委員会】●第47回全国高等学校総合文化祭 鹿児島大会 2023 かごしま総文
●第27回全国高校新聞年間紙面審査賞……優良賞



寄贈図書紹介（令和5年1月～12月）

寄贈年月日	書名	著者名	寄贈者(敬称略)
2023.01.17	日本語で考えたい科学の問い「調べる・考える・伝える」ための探究・活動型日本語教科書 下 心と身体篇	田中祐輔／編著	田中祐輔
2023.01.30	しなきや、なんてない。	LIFULL	LIFULL
2023.02.13	ふくしまから地球文明の未来を	森田実	東日本国際大学
2023.02.17	都市行政の変貌と法	板垣勝彦	板垣勝彦 (福高51回卒)
2023.02.17	ふくしま近代医学150年 黎明期の群像	福島民友新聞社編集局／編	福島県立医科大学医学部同窓会
2023.02.28	この道の、もっと先へ。 学校法人石川高等学校創立130周年記念誌1892～2022	学校法人石川高等学校創立130周年記念事業実行委員会／編	学校法人石川義塾
2023.03.02	ISOは経営をダメにする	萩原睦幸	萩原睦幸
2023.03.03	郷土から問う歴史学と社会科教育	伊藤純郎／監修 武藤正人、他／編	渡邊優輔 (福高54回卒)
2023.03.22	〈学園〉の取扱説明書 改訂第2版	仲正昌樹	齋藤允賀 (福高48回卒)
2023.03.22	社会変革のためのシステム思考実践ガイド 共に解決策を見出し、コレクティブ・インパクトを創造する	デイヴィッド・ピーター・ストロー	齋藤允賀 (福高48回卒)
2023.03.27	福島県立保原高等学校創立100周年記念誌 興実剛健 和表協同 人生の原点 保高の百年	福島県立保原高等学校創立100周年記念事業実行委員会／編	福島県立保原高等学校、 福島県立保原高等学校 創立100周年記念事業 実行委員会
2023.03.28	デジタル・シティズンシップ+ やってみよう!創ろう! 書きデジタル市民への学び	坂本旬、他	福島県高等学校司書 研修会東北・相双部会
2023.03.31	THE MACMILLAN VISUAL DICTIONARY	—	福高職員
2023.04.06	条例づくり教室 構造の理解を深め、使いこなそう!	板垣勝彦	板垣勝彦 (福高51回卒)
2023.04.06	いっしょに 2022	—	詩と絵が出会う詩集 絵本制作委員会
2023.04.11	るるぶ特別編集 東日本大震災伝承施設ガイド 3.11の記憶と教訓を学び、明日へ伝える	JTBパブリッシング／企画・編集・制作	復興庁、観光庁
2023.04.26	県文学集 第70集 第75回福島県文学賞受賞作品集	福島県文化スポーツ局文化振興課／編	福島県文化振興課
2023.05.09	マンガdeひもとく生命科学のいま ドッキン! いのちの不思議調査隊	朝日新聞出版／編著	テルモ生命科学振興財団
2023.05.01	中学生・高校生・おとな 論語 生き方を求め	有田桂子	有田桂子
2023.06.23	語りの力	東北大学大学院文学部研究科講演・出版企画委員会／編	東北大学大学院文学部研究科講演・出版企画委員会
2023.07.04	アフター・コロナのSDGs 〈持続可能な開発目標〉と東南アジア	石川耕三	新潟大学大学院現代社会文化研究科

寄贈年月日	書名	著者名	寄贈者(敬称略)
2023.07.04	虹への祈り 聖書にみるいのちのつながり	細田あや子	新潟大学大学院 現代社会文化研究科
2023.07.04	医療経営学と生涯教育からみた地域と 地域課題 リデザインののための リテラシー応用力に向けて	堀籠崇、他	新潟大学大学院 現代社会文化研究科
2023.07.13	アジア・太平洋戦争を問い直す	伊藤純郎	渡邊優輔 (福高54回卒)
2023.07.14	君たちはどう生きるか	吉野源三郎	福高職員
2023.08.18	近現代日本史との対話 幕末・維新・戦前編	成田龍一	集英社
2023.08.18	近現代日本史との対話 戦中・戦後・現在編	成田龍一	集英社
2023.08.18	「自由」の危機 息苦しさの正体	藤原辰史、他	集英社
2023.09.07	公務員をめざす人に贈る 行政法教科書 第2版	板垣勝彦	板垣勝彦 (福高51回卒)
2023.09.13	創基百五十年筑波大学五十年史 史料編 下巻	筑波大学50年史編集委員会／編	中野日徹 (福高31回卒)
2023.09.27	歴史論争から見た戦後ドイツ	渡辺将尚	渡辺将尚 (福高43回卒)
2023.10.23	日本人の99%が知らないこれが世界の 真実だ! ワクワク・どきどき・感動の 世界旅	藤本正樹	藤本正樹
2023.11.20	近藤誠一全集 3	近藤誠一	近藤誠一、写真文化 首都「写真の町」 北海道東川町
2023.11.27	福島県立相馬農業高等学校 創立百二十年周年記念誌	—	福島県立相馬農業高等学校 創立120周年記念 事業実行委員会
2023.11.29	マンガで読む歴史学者・朝河貫一	安藤智重	朝河貫一博士顕彰協会
2023.11.29	現代文で読む「日本の禍機」 世界的歴史学者朝河貫一の警告	朝河貫一／著 朝河貫一博士顕彰協会／編	朝河貫一博士顕彰協会
2023.11.29	マンガで読む儒学者・安積良斎	安藤智重	朝河貫一博士顕彰協会
2023.11.29	石橋湛山 没後五〇年に考える	星浩、他／編著	星浩 (福高26回卒)
2023.12.04	入門行政法	板垣勝彦、他	板垣勝彦 (福高51回卒)
2023.12.11	生きるための図書館 一人ひとりのために	竹内忍	東北地区高等学校 図書館研究会
2023.12.14	行政法学の変革と希望 傘寿を記念して	阿部泰隆／編著	浅野崇 (福高30回卒)
2023.12.18	「戦争への道」ではなく「平和への道」 を進もう 神話の呪縛を解く のぶ館さんの子と孫への話	高橋信敬	高橋信敬
2023.12.26	行政手続と自治体法務 法律、条例、 判例をおさえて公正・透明な行政手続を 実現する	板垣勝彦	板垣勝彦 (福高51回卒)

(その他多数の寄贈圖書をいただきました)

福島県立福島高等学校同窓会 役員および事務局員

令和5年度 同窓会役員

会 長	芳賀 裕	高22回
副会長	落合 敏伸	高19回
〃	重富 秀一	高21回
〃	箱崎 一彦	高23回
〃	渋谷 秀一	高24回
〃	丹治 正博	高26回
〃	芳見 弘一	高28回
常任理事	磯貝 健郎	高13回
〃	富田 建一郎	高16回
〃	熊坂 英二	高18回
〃	佐藤 信雄	高21回
〃	大野 順道	高22回
〃	穂積 寿男	高23回
〃	塚原 眞司	高24回
〃	石原 裕人	高24回
〃	後藤 忠久	高26回
〃	阿部 芳和	高27回
〃	今関 達也	高28回
監 事	尾形 克彦	高22回
〃	長谷川 敏朗	高28回
理 事	渡辺 博美	高17回

理 事	横山 純	高17回
〃	木戸 孝志	高17回
〃	小林 勇一	高17回
〃	勢島 昇	高18回
〃	斎藤 高紀	高18回
〃	花井 宣明	高20回
〃	伊藤 幹夫	高20回
〃	網代 智明	高21回
〃	佐々木 孝司	高21回
〃	中田 茂実	高21回
〃	安藤 正道	高21回
〃	黒澤 信雄	高22回
〃	木村 豊	高22回
〃	二階堂 保夫	高22回
〃	江口 淳	高23回
〃	鈴木 浩一	高23回
〃	高荒 俊勝	高24回
〃	尾形 省二	高24回
〃	高橋 通夫	高25回
〃	土屋 牧雄	高26回
〃	武藤 進	高26回

理 事	矢森 真人	高26回
〃	鈴木 真一	高27回
〃	片平 淳	高28回
〃	五十嵐 俊道	高28回
〃	加藤 勇治	高29回
〃	金子 弘保	高29回
〃	土田 淳	高29回
〃	加藤 孝一	高30回
〃	島田 久	高31回
〃	八子 直樹	高31回
〃	大和田 利明	高31回
〃	太田 英晴	高31回
〃	樋口 幸一	高32回
〃	藤野 貴	高32回
〃	篠木 雄司	高33回
〃	吉成 健二	高33回
〃	関根 英樹	高33回
〃	渡辺 健二	高33回
〃	手塚 徹	高34回
〃	菅野 剛広	高34回
〃	鈴木 宏幸	高36回

理 事	阿久津 順二	高37回
〃	黒森 陽一	高37回
〃	板垣 隆	高37回
〃	三浦 康伸	高39回
〃	日下 直哉	高39回
〃	佐藤 智宏	高39回
〃	渡辺 勝久	高42回
〃	目黒 貴裕	高42回
〃	吉田 大樹	高45回
〃	内池 宗	高45回
〃	中尾 勉	高46回
〃	本多 修一郎	高47回
〃	佐藤 永之	高48回
〃	杉本 涉	高48回
〃	佐藤 充孝	高50回
〃	山尾 祥大	高51回
〃	遠藤 武義	高52回
〃	伊藤 大地	高52回

令和5年度 同窓会事務局員

丹野 純一	高37回
齋藤 嘉浩	高32回
国分 聡	高33回
堀江 誠克	高35回
斎藤 実	高37回
佐藤 達男	高37回
中原 勝	高41回
渡辺 洋生	高43回
我妻 智	高46回
根本 浩之	高46回
富良謝 和信	高48回
菅野 隆介	高54回
渡邊 優輔	高54回
菅野 祐哉	高56回
香野 学	高56回
白川 大智	高70回
安藤 ゆずな	高70回

同窓会事務局（福島高校内）

〒960-8002 福島市森合町5-72
TEL.024-535-2391 FAX.024-535-2392
<https://www.baienikai.org>

みやぎ梅苑会事務局

〒981-0923 仙台市青葉区東勝山二丁目22-6
TEL.022-275-2887 (落合 敏伸)
<https://miyagi-baienikai.com>

関東梅苑会事務局

〒150-0043 渋谷区道玄坂1-15-3 プリメーラ道玄坂110号信陵会館内
TEL.03-3462-1225 FAX.03-5489-1358 (島田 久)
<https://www.kantobaienikai.ne.jp>